

ワシントン州：小麦作柄と気象状況

2010年11月14日現在

概況 ワシントン州東部の11月14日に終る1週間の気象は、全州にて降雨を伴い平年並みか多少平年を下回る気温の気象であった。EC地区の最高気温は48～58度F、最低気温は23～26度Fであり、平均気温は平年並みか所により2～3度F平年を下回った。同地区の1週間の降水量は0.13～0.24インチであった。SE地区の最高気温は47～63度F、最低気温は26～33度Fであり、平均気温は平年を0～3度F上回った。1週間の降水量は0.16インチ～0.47インチであった。1週間の州平均農作業稼働日数は4.5(前週:5.0日)であった。Topsoilの土壌水分は、前週より“Surplus”が更に増加し、“Adequate”が減少した。Subsoilの土壌水分は前週より減少した。2011年産冬小麦の例年より早い出芽の進捗であり、全州の97%(昨年:91%、5年平均:90%)にて出芽した。冬小麦の作柄は改善し“Excellent”が増加した。Walla Walla郡の圃場の一部で土壌水分過多が報告されたが、冬小麦の生育は例年に無く早く、草丈が11インチに達した圃場が報告された。冬小麦の作柄は全州にて昨年より良いとの報告であった。

土壌水分及び灌漑用状況(*)

(%)		Very short	Short	Adequate	Surplus
Topsoil	This week	0	8	47	45
	Last week	0	6	54	40
	5-Yr Ave.	6	13	55	26
Subsoil	This week	2	24	70	4
	Last week	3	22	72	3
	5-Yr Ave.	16	31	49	4
Irrigation	This week	0	2	92	2
	Last week	0	2	91	7
	5-Yr Ave.	0	4	79	17

冬小麦の生育状況(*)

(%)	This week	Last week	Last year	5-Yr.Average
Emerged	97	96	91	100

冬小麦の作柄状況(*)

(%)	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
This week	0	0	7	76	17
Last week	0	0	10	80	10
Last year	0	5	41	45	9

(*) Source: Washington Agricultural Statistic Service, National Agricultural Statistic Service, Oregon Field Office, 5-Yr Ave means average of past 5 years 2006,2007,2008,2009 and 2010 Crop year.

以上